

## 1 オウレン末

### 2 純度試験(3)の項を次のように改める。

#### 3 純度試験

4 (3) 重金属 (1.07) 本品1.0 gをとり、第3法により操作  
5 し、試験を行う。比較液には鉛標準液2.0 mLを加える(20  
6 ppm以下)。本試験で判定困難なときは、原子吸光光度法  
7 (2.23) により試験を行う。本品5.0 gを白金製、石英製又は  
8 磁製のろつぼにとり、弱く加熱した後、450～550 °Cで強熱  
9 し、灰化する。冷後、残留物に2 mol/L硝酸試液少量を加え、  
10 必要ならばろ過し、2 mol/L硝酸試液少量で数回洗い、ろ液  
11 及び洗液を合わせ、2 mol/L硝酸試液を加えて正確に20 mL  
12 とし、試料溶液とする。別に鉛標準液2.5 mLに2 mol/L硝酸  
13 試液を加えて正確に20 mLとし、標準溶液とする。試料溶液  
14 及び標準溶液につき、次の条件により試験を行うとき、試料  
15 溶液の吸光度は標準溶液の吸光度以下である(5 ppm以下)。

16 使用ガス：

17 可燃性ガス アセチレン又は水素

18 支燃性ガス 空気

19 ランプ：鉛中空陰極ランプ

20 波長：283.3 nm

21

22